

オレンジカフェ甲府駅前

2020年8月から、甲府市の委託事業として認知症カフェ『オレンジカフェ甲府駅前』が始まりました。毎月第3木曜日の13:30～15:30に開催。病院の職員が中心になり、体操や認知症のミニ学習会などを、感染防止対策を取りながら開催しています。認知症の当事者の方やご家族、認知症予防や健康づくりに関心のある方、認知症サポーター養成講座を受けられた方など、様々な地域の方に参加して頂いています。リフレッシュしてゆっくりお話や相談ができる場として参加者同士の交流やつながりも生まれています。新たに始めた「ふまねっと」では、認知症の当事者の方がいきいきと取り組まれる姿を見て一緒に参加したご家族も大変喜ばれていました。他にも「この場所が集える場所。このカフェを本当に楽しみにしている」「体を動かしてお話ができるのが良い。元気になる」と好評です。

認知症や介護の困りごとの相談も行っており医療・介護の専門職にスムーズにつなげることが出来ます。お気軽にご参加下さい。



『ふまねっと』で心も体を元気に！
頭と体を使いながら皆で楽しくおこないます



ゆっくりお話ができるカフェタイム



リハビリスタッフによるストレッチ体操

お問い合わせは 055-221-8725 (川俣・右田)

患者サポートセンターより

甲府共立診療所のご案内

診療科：内科・甲状腺外科・乳腺外科・泌尿器科
整形外科・心血管外科・耳鼻科・小児科
皮膚科・眼科

甲府共立診療所（代表）055-221-1000
（平日・受付時間内・小児科発熱者対応問い合わせ先）
電話での対応時間 9:00～17:00

甲府共立病院のご案内

診療科：外科・肛門外科・産婦人科・精神科
緊急患者対応

※精神科は、完全予約制です。現在、新患の受け入れは中止しております。

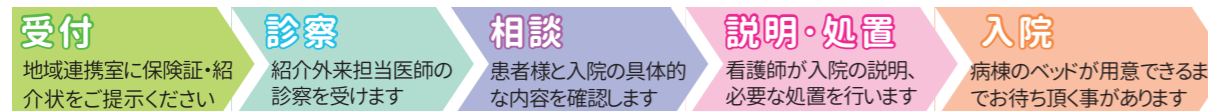
甲府共立病院（代表）055-226-3131
（緊急受診患者・発熱者対応問い合わせ先）
24時間電話相談可

- 診療科は、日によって変動がありますので詳細はお問い合わせください ●
- 医療機関からの紹介・相談対応は、患者サポートセンターにて承ります ●
直通 055-226-3133 FAX 055-221-0006
[対応時間 月～金 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00]
- 入院中の患者に関する退院支援等の問い合わせ ●
直通 055-226-3135 [対応時間 月～金 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00]



【休診】木曜日の午後・土曜日の午後・第4土曜日・日曜・祭日・5月1日・年末年始（12月29日～1月3日）

入院までの流れ



病状によっては、甲府共立診療所で診察を行うこともあります。スムーズな入院受け入れのため、右記のような情報をお尋ねしますのでご了承ください。

- ① 患者様の氏名
- ② 生年月日
- ③ 病名・病態
- ④ ADL 状況
- ⑤ 認知症の有無



日本医療機能評価機構 認定病院 甲府共立病院 Kofu-Kyoritsu hospital

gional Medical Liaison Office
News and magazine

地域連携だより

地域の皆様が安心して治療が受けられるように



目次

- P2,3 糖尿病診療改善プロジェクトチームの紹介と活動
- P4 オレンジカフェ甲府駅前
- p4 患者サポートセンターよりお知らせ

2021
3
March



公益社団法人 山梨勤労者医療協会

糖尿病診療改善プロジェクトチームの紹介と活動

担当医師ご挨拶

山梨大学第3内科で糖尿病・内分泌診療を長らく行ってきましたが、この度2019年10月に当院に着任いたしましたことを契機に、院内に「糖尿病診療改善プロジェクトチーム (DM カイゼンチーム)」を立ち上げ、糖尿病診療の質の向上に向けた取り組みを開始しています。



内科主任医長
張 磨 則之



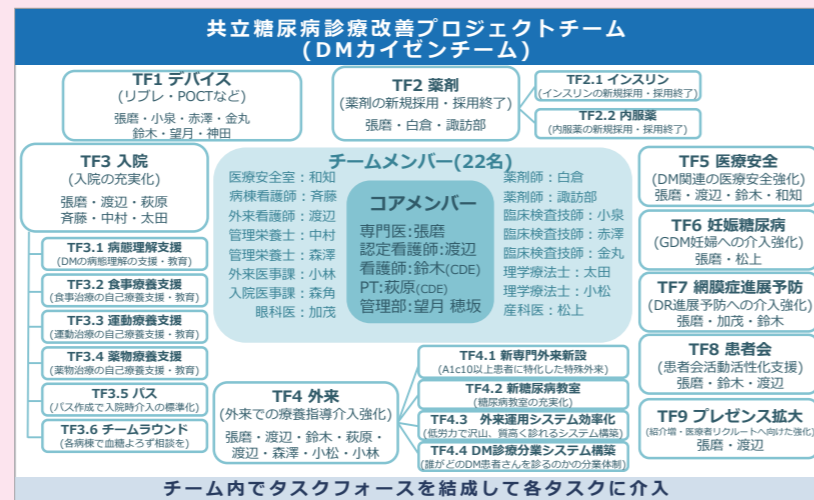
糖尿病認定看護師
渡 辺 幸子

認定看護師ご挨拶

糖尿病診療においては、食事や運動、自己注射、フットケアなど、患者さん自らが行う自己療養が治療の成否を決める重要な要素となっており、今回私たちが行っているカイゼン活動では、現状よりもさらに各職種が連携・協働してその自己療養の「支援」が行えるよう改善を図っているところです。医療者が「指導」を行うのではなく、患者さんがご自身の人生の物語として自らの糖尿病に向き合い、受け入れていくこと。そして私たちは患者さんに寄り添い、その中で患者さん自身が自己療養として何をやるのか見つけていく、そんな「支援」を行っていくことを目指して、日々活動を行っています。

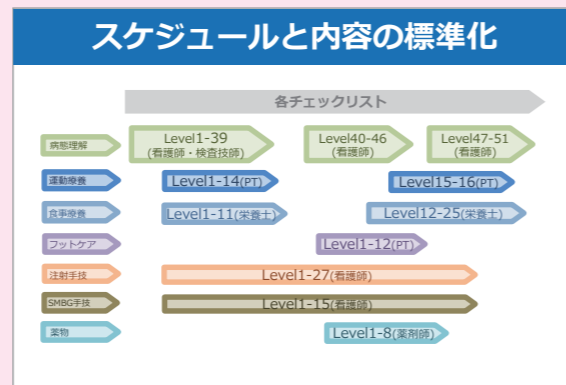
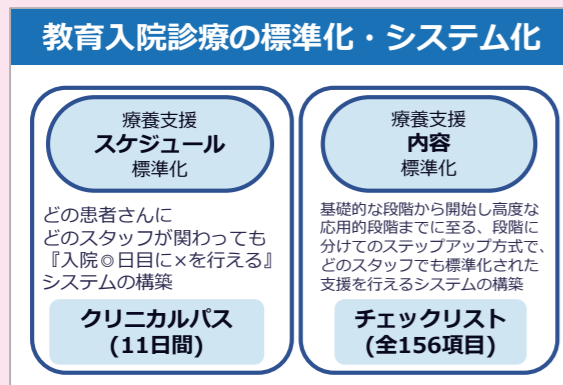
DMカイゼンチーム活動

外来診療、病棟診療、デバイス、薬剤、医療安全等、質の向上をはかるため介入すべき項目を細分化してタスクとし、そのタスクに介入するチーム内小集団として関連するメンバーを選抜してタスクフォースを組織し、それぞれのタスクフォース単位で改善活動を展開しています。



教育入院診療の標準化

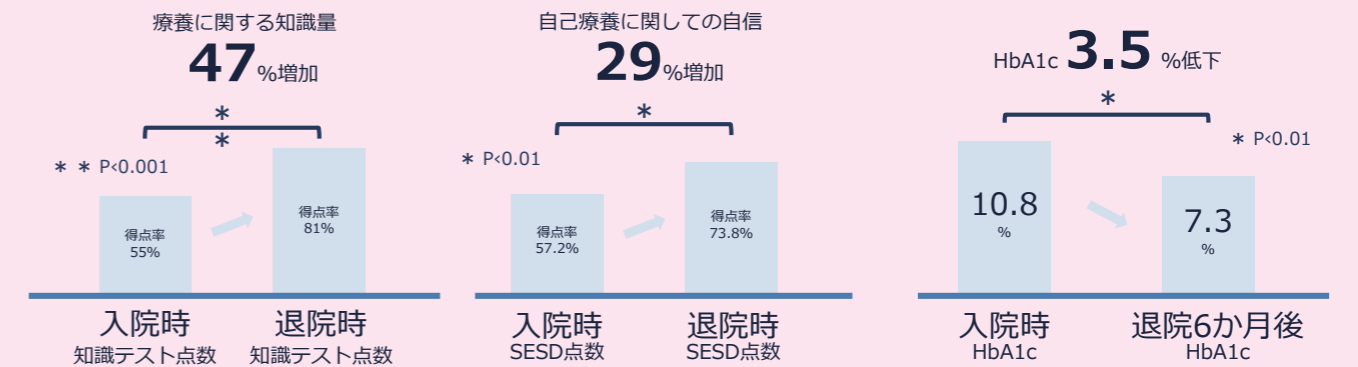
教育入院の診療を質高く行えるように標準化 / システム化を志向し、入院中にスタッフが行う全156項目からなる療養支援のチェックリスト化を基本とした11日間パス(基本スタイル水曜入院→翌週末退院)を整備しました。



患者用パンフレットを一緒に読み合わせながら療養支援

教育入院の効果

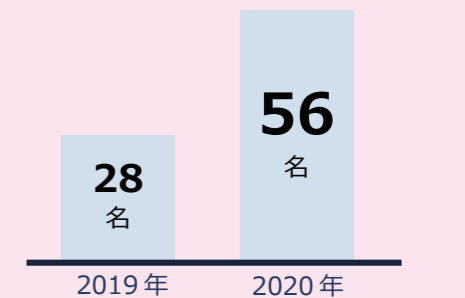
当院での教育入院によって、患者さんの療養に対する基本的知識や自己効力感(自己療養ができるという自信)は有意に増加しています。またその効果は退院後6か月時点においてHbA1cの3%程度の改善という形に表れています。



医療者カンファ

教育入院の現況

当院での教育入院数は院内紹介、他院からのご紹介含めて増加傾向です。当院は甲府地区の二次救急を担っており、未治療の糖尿病ケトアシドーシスや高血糖高浸透圧昏睡など高血糖緊急症を併発して緊急入院となる症例も多い印象です。こうした患者さんの緊急入院受け入れに可能な限り対応いたします。退院後につきましては紹介医の先生に引き継ぐことを原則としております。



教育入院・血糖コントロール入院数(名/年)

ご紹介のお願い

今後とも糖尿病のカイゼンチーム活動を通じて入院診療だけでなく外来診療やデバイス、薬剤など糖尿病に関わる全範囲に渡って診療の質向上に努めていきたいと思っております。糖尿病関連でお困りの患者さんがいらっしゃる場合はぜひご紹介下さい。